

## 所蔵作品展「MOMATコレクション」

2017年11月14日[火]ー2018年5月27日[日]

東京国立近代美術館(MOMAT, 千代田区)では、国内最大規模約**13,000点**の所蔵作品から約**200点**を厳選して紹介する所蔵作品展「MOMAT コレクション」を4階から2階で開催しています。

時宜に適ったテーマや切り口で、年に数回、ガラッと作品を入れ替える所蔵作品展「MOMAT コレクション」は、多様な作品をとおして**明治以降の日本美術の流れ**をたどることができる唯一の展示として、知る人ぞ知る充実の展覧会です。



高村光太郎《兎》1899年頃

(展示期間: 2017年11月14日～2018年1月14日)



安井曾太郎《金蓉》1934年



岡崎乾二郎

《テウミンとたみをとむらって バツサイとつみをきりしは》  
2000年

(展示期間: 2017年11月14日～2018年3月18日)

## ■ 今期のみどころ

## ① 明治から平成まで、1時間でたどる時間旅行

20世紀はじめから今日に至る日本の近現代美術の流れを、国際的な関連も含めてご紹介するMOMATコレクション。各室のテーマも作品も大幅に入れ替わりました。2室から12室まではおおよそ時代順ですが、例えば大正時代でも「太陽とわたしと女性」や「関東大震災」など、部屋ごとにテーマをたてて作品が選ばれています。作品の時代背景にも思いを馳せつつ、小さな時間旅行をお楽しみください。

## ② ロバート・フランクを収蔵後、初公開します

MOMATでは、出版社邑元舎を主宰し、写真集の出版を手がけた元村和彦氏(1933-2014)が所蔵していたロバート・フランク作品145点を、新たに収蔵しました。20世紀後半の最も重要な写真家のひとり、フランクの代表作を含む作品群を、三期に分けて展示します。

このロバート・フランク特集については、後日、より詳しいプレスリリースを用意します。

## ③ 1階の展覧会に関連したテーマの部屋もあります

熊谷守一展(2017年12月1日～2018年3月21日)、横山大観展(2018年4月13日～5月27日)に関連したテーマの部屋もお楽しみください。

④ 恒例の「美術館の春まつり」(2018年3月下旬～4月上旬頃)も開催！後日、より詳しいプレスリリースを用意します。

出品リストと展示替については、こちらでチェックできます。完全な出品リストは会期直前の公開になります。

<http://www.momat.go.jp/am/exhibition/>



川合玉堂《行く春》1916年 重要文化財 (展示期間: 2018年3月20日～5月27日)

プレス用イメージ・取材、展覧会内容など報道関係のお問合せ先: 東京国立近代美術館 美術課広報担当(岩田)

TEL: 03-3214-2565 / FAX: 03-3214-2576 e-mail: [pr-f@momat.go.jp](mailto:pr-f@momat.go.jp) 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1

## ■ 今回が新収蔵初出品となる作品

2014年以降に収蔵され、今回初めて「MOMATコレクション」展に出品される作品は次の通りです。

- 全会期展示 ・桂川寛 洪水の街 1950年 ほか19点
  - ・山下菊二 植民地工場 1951年
  - ・ロバート・フランク ニューヨーク、1951 1951年 ほか 59点 (3期に分けて展示替)
- 2017年11月14日～2018年2月18日に展示
  - ・小野忠重 工場に進む赤旗 1930年 ほか5点
- 2017年11月14日～2018年3月18日に展示
  - ・岡崎乾二郎 テウミンとたみをとむらって バツサイとつみをきりしは 2000年
  - ・辰野登恵子 Work 86-P-1 1986年
  - ・高嶺格 ジャパン・シンドローム～関西編 2011年
  - ・高嶺格 ジャパン・シンドローム～水戸編 2012年
- 2018年2月20日～5月27日に展示
  - ・野田英夫 都会 1934年
- 2018年3月20日～5月27日に展示
  - ・船田玉樹 花の夕 1938年
  - ・ホンマタカシ Tokyo and My Daughter 1999-2010年
  - ・ヘンリー・ウェッセル 不動産写真 No. 908614 1990年

## ■ 夜間開館がおすすめ！

週末の夜、ゆったりとした気分で名品と向き合う贅沢なひとときはいかがでしょうか。

金曜日と土曜日は夜8時まで開館しています。

### ・キュレータートーク

11月18日(土)14:00～15:00 都築千重子 テーマ:昭和戦前期の写実について

12月22日(金)18:30～19:30 大谷省吾 (テーマ未定)

2018年1月20日(土)14:00～15:00 保坂健二郎 (テーマ未定)

2018年3月24日(土)14:00～15:00 増田玲 (テーマ未定)

\* テーマ等詳細は当館HP( <http://www.momat.go.jp/am/exhibition/> )にてご確認ください。

### ・お得な「5時から割引」実施中！

夕方17時以降に入館すると、割引料金でご覧いただけます。(一般500円→300円 大学生250円→150円)

## ■ 写真撮影

「MOMATコレクション」では、2012年のリニューアルを機に、一定の条件の範囲内で写真撮影を許可しています。

## ■ 所蔵品ガイド

所蔵品ギャラリーでは、毎日、MOMATガイドスタッフが所蔵品ガイドを行っています。ガイドが一方向的に作品を解説するのではなく、参加者のみなさんからさまざまな見方や発言を引き出すそのスタイルは人気があり、リピーターが続出しています。多くのメディアにも取り上げられ、注目を集めています。

このたび、さらにガイドの時間が居心地良くなる「ギャラリーチェア」を、スウェーデン

から直輸入しました。MoMAなど世界の美術館で使われている、LECTUS社の

「Stockholm II」という折り畳み椅子です。この椅子に座って作品を見ると、

じっくりと観察でき、文字通り「腰を据えて」鑑賞を深めることができる、

すぐれもののツールです。ぜひ所蔵品ガイドでスペシャルな時間をご体験ください。

(参加者数やその日の作品により、ギャラリーチェアを使用しないときもあります)



日時: 休館日を除く毎日、14:00-15:00

場所: 所蔵品ギャラリー(1Fエントランス集合)。要観覧券。参加は無料。

## 展覧会概要

タイトル	所蔵作品展「MOMATコレクション」
会期	2017年11月14日[火]–2018年5月27日[日] *会期中に展示替えがあります
開館時間	10:00–17:00 金曜・土曜は20:00まで(入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日(ただし1月8日、2月12日、3月26日、4月2日、30日は開館) 12月28日～1月1日、1月9日[火]、2月13日[火]
主催	東京国立近代美術館
会場	東京国立近代美術館 本館 4～2階 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
アクセス	東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分
観覧料	一般500(400)円 大学生250(200)円 * 高校生以下および18歳未満、65歳以上、「MOMATパスポート」をお持ちの方、友の会、賛助会員、MOMAT支援サークルパートナー企業(同伴者1名まで、シルバー会員は本人のみ)、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料 * ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 * 17時以降の入館は「MOMATコレクション」観覧料が一般300円、大学生150円になります。
無料観覧日	毎月第一日曜日(12月3日、1月7日、2月4日、3月4日、4月1日、5月6日) および 11月15日[水、工芸館開館40周年記念日]、1月2日[火]、5月18日[金、国際博物館の日]、 * 本展のみ(企画展は観覧料が必要です)
お問合せ	03-5777-8600(ハローダイヤル) <a href="http://www.momat.go.jp">http://www.momat.go.jp</a> (ホームページ)
同時開催	企画展ギャラリー(1F) ◆「没後40年 熊谷守一 生きるよろこび」 2017年12月1日[金]–2018年3月21日[水・祝] 観覧料:一般1,400(1,000)円 大学生900(600)円 高校生400(200)円 ◆「生誕150年 横山大観展」 2018年4月13日[金]–5月27日[日] 観覧料:一般1,500(1,300)円 大学生1,100(900)円 高校生600(400)円 * 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者1名は無料 * ( )内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 * 企画展の観覧料で、当日に限り所蔵作品展「MOMATコレクション」もご覧いただけます

## ■画像の貸出について

所蔵作品展「MOMATコレクション」に出品中の作品は、どれでも無料(広報扱い)で画像を貸し出しています。貸し出しの条件は次のとおりです。

1. 展覧会(所蔵作品展「MOMATコレクション」)の会期中に発行される記事であること。
2. 掲載時には展覧会(所蔵作品展「MOMATコレクション」)名と会期、展示中であることを記してください。
3. 原則としてトリミングや文字載せはお断りします。
4. 著作権の保護期間内にある作品については、著作権者の許可をとってください。ただし、このプレスリリースに掲載されている画像については、著作権の保護期間にある作品もご利用になれます。
5. 画像の二次使用は基本的にできません。
6. 作品によっては、カラー画像が未撮影の場合もあります。ご了承ください。
7. 会期外の使用はDNPアートコミュニケーションズ(<https://images.dnpartcom.jp/>)へご申請ください。有料です。